

■ シンポジウム 歴史のなかの地図Ⅴ

「江戸と江戸城—市民社会と政治文化」

2010年9月11日 東京大学・山上会館201/202号室 9:30~5:00

本科研では、2006年度からシンポジウム・公開研究集会「歴史のなかの地図」シリーズを開催してきました。今年度は、昨年度の「歴史のなかの地図Ⅳ 政治と空間—江戸城」をふまえ、「江戸と江戸城」をテーマとし、近年大きな成果を生んでいる都市史・政治史・文化史・空間論を有機的に論じたいと考えています。さらに、北京と紫禁城の報告をお願いし、東アジアのなかでの比較史的観点からの議論を行いたいと思っています。興味をお持ちのかたは、是非ご参加ください。

杉本史子 問題提起	9:30—10:00
松尾美恵子「近世前期江戸城と江戸の防衛」	10:00—11:00
岩淵令治「江戸城門番について」	11:00—12:00
千葉正樹「版本江戸絵図のなかの城と地域」	1:30—2:30
杉山清彦「清代の北京と紫禁城—武人と文人、旗人と民人」	2:30—3:30
討論	3:30—5:00

※タイムテーブルは変更する可能性があります。タイトルはいずれも仮題です。

※東大・本郷キャンパス案内 http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_01_j.html

【事前申込制 申込先・東京大学史料編纂所HPのお申し込みフォーム
URL <https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/footer/seminar-entry.html>】

科研費・基盤 (A)

「「地図史科学の構築」の新展開—科学的調査・復元研究・データベース—」(代表・杉本史子)
上記の情報の詳細は、下記のHPをご参照ください。

<http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/personal/fumiko/index.htm>